

文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成支援（コンテンツ制作・発信を支える中核的専門人材育成・確保等）

団体名	学校法人呉学園
プロジェクト名	ササユリ動画研修所との連携による、アニメーション分野における学校向け教育キットの開発と量産化及び普及

基本情報

対象分野	アニメ	対象となる職種	アニメーター
------	-----	---------	--------

プロジェクトの概要（案）

学校法人呉学園では、ササユリ動画研修所完全監修のカリキュラムにより、アニメーション制作の現場で必要とされる実践的な技術と知識を学ぶことができる。今後は、指導者不足によって生じる学校教育と制作現場のギャップを解消するため、教科書や映像教材、関連資料を組み合わせた教育キットを整備し、専門家が直接指導できない環境でも質の高い教育を実現し、さらに検定試験や指導者研修、多言語対応を通じて国内外での普及を進め、日本のアニメ制作会社で活躍できる人材を世界中で育成するとともに、日本式アニメ制作手法の国際標準化を目指す。

具体的な人材ニーズ、またはニーズが生じる見込み

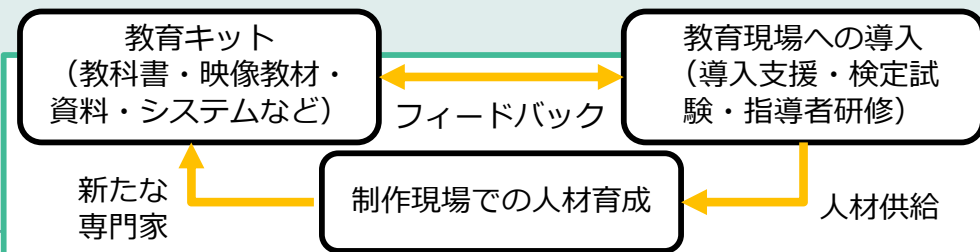
アニメーション業界では、海外市場の拡大や作品制作の増加に伴い、今後さらに多くの制作者が必要となることが見込まれている。現在のアニメ制作者数は6,000人程度と言われているが、政府目標の海外市場規模20兆円を達成するためには、2033年までに5倍の30,000人程度が必要という試算もある。また専門的な指導を行う人材の不足が問題の一つとなっている。熟練したアニメーターも日々の業務に追われ、後進の育成まで手が回らない状況が続いている。そこで本プロジェクトでは、専門家の知識・技術を体系化した教育キットを開発・量産化し、教育機関等へ普及させることで専門家による指導を補完する。これにより人材育成の裾野を広げ、毎年1,500人以上の人材育成につなげることを目指す。

期待される成果や波及効果

「専門家が直接指導ができない場合でも同等の授業できる教育キット」が主題であり、指導者不足の地方の学校でも真に専門的な教育が受けられることで、年間1,500人以上の人材をアニメーション業界へ送り込める基盤となる。また、この教育キットの量産化により鮮度の高い技術を教育現場に届けることができ、今後10年の制作環境の激変に耐えうる基盤とする。さらに波及効果として「日本式アニメーション制作」を世界中に普及することで、制作手法のデファクトスタンダードを獲得し、今後100年、日本がアニメーション制作コミュニティの中心となる。

人材の育成・確保のための持続的な基盤の構築イメージ

現場の中核人材を育てる教育キットは制作現場と教育現場の双方からのフィードバックを受けて継続的に更新することが重要である。今回の補助金を活用することにより自走化するまでのスタートダッシュを切り、継続的に教育キットを整備し、持続的な人材育成基盤を構築する。



目標達成までのロードマップ（案）

1年目

- 教育キットの制作：4件
（教科書1、映像授業1、資料1、システム1）
- 教育キットの指導要領やノウハウ公開
- 普及推進：43件
（内訳：導入支援40件、遠隔指導者研修1件、出展1件、検定試験構築1件）
- 外国語翻訳版制作：2件

2年目

- 教育キットの制作：2件
（映像授業1、資料1）
- 教育キットの指導要領やノウハウ公開
- 普及推進：42件
（内訳：導入支援40件、出展1件、検定試験運営1件）
- 海外普及：2件
（内訳：導入支援1件、出展1件）

3年目

- 教育キットの制作：2件
（教科書1、資料1）
- 教育キットの指導要領やノウハウ公開
- 普及推進：42件
（内訳：導入支援40件、出展1件、検定試験運営1件）
- 海外普及：2件
（内訳：導入支援1件、出展1件）

実施体制（案）

パートナー企業

株式会社ササユリ（ササユリ動画研修所）

代表取締役
取締役
営業部長
アニメーター育成の専門家に依頼していく

産学協力

- ・吉備国際大学 教授
- ・ZEN大学知能情報社会学部 教授
- ・日本動画協会・一般社団法人日本アニメーター・演出協会（JAniCA）
- その他、多数

プロジェクト推進事務局

事務局長：学校法人呉学園 事務局長
顧問アドバイザー：株式会社ササユリ
制作部長：学校法人呉学園 教育IP推進課
広報部長：学校法人呉学園 総務課広報
営業部長：株式会社ササユリ
会計担当：学校法人呉学園 総務課経理
海外担当：学校法人呉学園 総務課

学校法人呉学園

理事長
専務理事・事務局長
事務局長代理・総務課広報
総務課経理
教育IP推進課
教務課
その他、多数